

パラグライダー J H F 技能証規定

【ノービス PILOT 証課程】実技

1. **目標** : ノービスパイロット技能証の獲得

単独にてパラグライダーを操縦し、左360度旋回及び右360度旋回を行う技能及び指定された地点に進入を行って着陸する技能を修得する。

2. **練習生** : パラグライダー B 級技能証を有する者。

3. **練習** : 合計飛行時間 5 時間以上 成功飛行回数 80 ~ 100 回以上 1 回 30 分以上のリフト内飛行を 3 回以上

4. **科目数** : 実技科目 24 科目

5. **実技科目表** :

1. 機材取り扱い (緊急パラシュートの装備及び使用法の理解、シミュレーションでの投下)
2. フライトプラン
3. 飛行準備 (機体、装備品、その他の用意と安全性の点検、確認)
4. 周囲警戒 (空中及び地上の安全性確認、飛行決心)
5. グランドハンドリング (グランドでのスラローム走行)
6. テイクオフ (3 ~ 5 m / s の正対風)
- G. テイクオフ (クロスハンド、他機警戒)
- H. 指定地ランディング (半径 20 m 以内への着陸)
9. クロスウインド飛行 (偏流修正飛行)
10. クロスウインド飛行 (8 の字蛇行高度処理)
11. 最小沈下速度での飛行 (直線飛行中の最小沈下速度はいつも一定であるが、同一機体ではフレイヤーの体重によって大気速度が変化する。)
12. 180 度旋回左右連続 (開始、切替、停止方向一定)
13. 180 度旋回左右連続 (3 回連続)
- N. 360 度旋回 (左旋回、右旋回、開始方向と停止方向一定、持続操作)
15. 360 度連続旋回 (左 3 回、右 3 回)
16. 360 度左右旋回 (8 の字旋回)
- Q. ピッチング (前後 15 度)
18. ローリング (左右 30 度程度)
19. ストールポイントの確認の回復
20. リアライザーでのターンとランディング
21. 両翼端潰し (折り) と回復
22. 安定したコンディションでの 10 分以上のソアリング
23. 機材の点検、調整
24. ノービスパイロット総合科目 G・N・Q・H

7. **ノービス PILOT 証検定実技試験科目**

G. テイクオフ (クロスハンドまたは通常のテイクオフ、他機警戒)

テイクオフ直後に、ラインの絡み及び風の影響等で安定したテイクオフが出来そうもない時には、ただちに取りやめれば不合格とはならない。
また、不安定なテイクオフでもしっかりリカバーされていれば良い。

N. 360 度左右連続旋回 (開始方向と停止方向が一致している事、旋回が持続している事)

Q. ピッチング (前後 15 度程度を連続 3 回)、極度に浅いものと深いものは不合格となる。

また、飛行方向がずれないこと。極端に飛行方向がずれたものは不合格となる。

H. 指定地点から半径 20 m 以内へのセーフティランディング

実技検定日までに、必ず 1 回の飛行で 30 分以上のソアリングをしていることが望ましい。

修得判断基準 3 回成功した場合、各科目を修得したものとする。

実技検定は同日に 2 回連続して受験できます。但し、1 回目の検定で危険な行為 (アウトサイド及びツリーランディング含む) をした場合は、その日の 2 回目の検定は受けられません。もし高度不足及び気象条件等で無理があると思われた場合は、直ちに検定を放棄し安全なフライトに心がけて下さい。

2 回検定を受けた場合の受験料は合格・不合格に関わらず、6,300 円が必要です。

不合格になった場合は、最低 3 回の模擬フライトしてから再度検定を受けて下さい。